



NTT DATA



2024年3月期 第3四半期 決算説明資料

2024年2月7日 株式会社NTTデータグループ

© 2024 NTT DATA Group Corporation

NTTデータグループの中山でございます。

本日はお忙しいところ、決算説明会にご参加いただきまして、誠にありがとうございます。

## INDEX

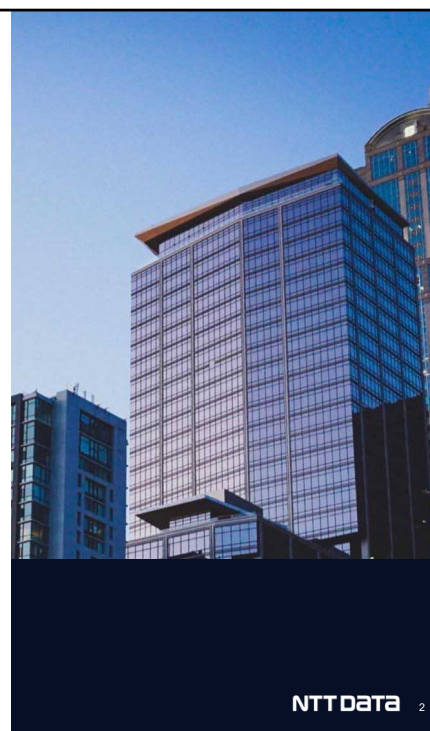
1. 2024年3月期 第3四半期実績
2. 決算説明における主なポイント
3. 巻末資料
  - 決算・業績予想値の詳細

### ご注意

※ 本資料に含まれる将来の予想に関する記載は、現時点における情報に基づき判断したものであり、今後、内外の経済や情報サービス業界の動向、新たなサービスや技術の進展により変動することがあります。従って、当社グループとして、その確実性を保証するものではありません。

※ 本資料に掲載されているサービス及び商品等は、当社グループ各社あるいは他社等の登録商標または商標です。

© 2024 NTT DATA Group Corporation

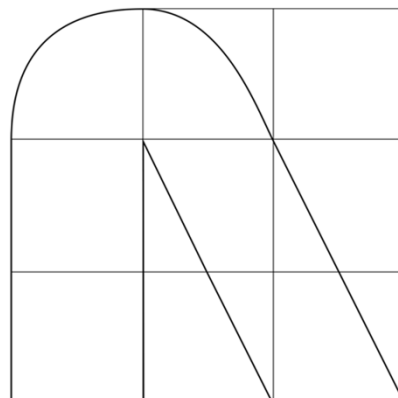


こちらが、本日のアジェンダとなります。

まずは、2024年3月期第3四半期実績についてご説明します。  
4ページをご覧ください。

# 1

## 2024年3月期 第3四半期実績



© 2024 NTT DATA Group Corporation

NTT DATA 3

(説明省略)

## 2024年3月期 第3四半期実績（前期比増減概要）

海外事業統合・構造改革に伴う費用増等はあるものの、全体としては順調に進捗しており、当期利益も含めて通期業績予想達成をめざす

- 売上高は、NTT Ltd.連結拡大影響に加え、日本セグメント・欧州における規模拡大及び為替影響等により増収
- 営業利益は、海外セグメントにおける事業統合費用・構造改革費用の増加はあるものの、NTT Ltd.連結拡大影響や増収等に伴い増益
- 四半期利益は、NTT Ltd.連結拡大影響に伴う金融費用等の増加により減益
- 受注高は、NTT Ltd.連結拡大影響や公共・金融及び北米における大型案件の獲得等により増加

	2023年3月期 第3四半期実績 (4月～12月)	2024年3月期 第3四半期実績 (4月～12月)	前期比 (金額)	前期比 (比率)		2024年3月期 予想	対業績予想 進捗率 (比率)
売上高	24,061	31,762	+7,701	+32.0%	↑	41,000	77.5%
営業利益 (営業利益率)	1,835 (7.6%)	1,971 (6.2%)	+136 (▲1.4P)	+7.4%	↑	2,920 (7.1%)	67.5%
当社株主に帰属する 四半期利益	1,057	837	▲220	▲20.8%	↓	1,440	58.2%
(参考) 受注高	NTT Ltd. 除き 18,702	35,668	+16,966	+90.7%	↑	NTT Ltd. 除き 28,500	—

(\*) NTT Ltd.は、2023年3月期 第3四半期より連結開始しており、2023年3月期のNTT Ltd.の売上高及び営業利益は10月～12月の数値。  
NTT Ltd.の受注高実績については、2023年3月期は含まず、2024年3月期より含む。

NTT DATA 4

こちらが、第3四半期実績の概要です。

第3四半期実績は、ご覧のとおり、対前期比で増収、営業利益増、四半期利益は減益となっています。

売上高は、昨年度第3四半期からNTT Ltd.を連結した影響に加え、公共・社会基盤、金融、法人の日本セグメントや欧州での規模拡大および為替影響により、+7,701億円の大規模な増収となりました。

営業利益は、通期業績予想に織り込んでいた海外セグメントにおける事業統合費用、事業構造改革費用の増加はあるものの、NTT Ltd.の連結拡大影響や増収により、+136億円の増益となりました。

四半期利益については、NTT Ltd.の連結拡大影響に伴い金融費用等が増加したことにより、減益となりました。

四半期利益の対業績予想進捗率は低めですが、全体としては順調に進捗しており、引き続き通期業績予想の達成をめざしてまいります。

受注高については、収支とは異なり、昨年度実績および今期の業績予想には、NTT Ltd.の数値を含んでおりません。  
これにより、受注高は対前期比で大幅に増加しております。  
詳細については次ページでご説明します。

5ページをご覧ください。

## 【参考】受注高 | セグメント別増減 (2024年3月期 第3四半期実績)

NTT Ltd.連結拡大影響や公共・金融及び北米における大型案件の獲得等により増加

(単位：億円)

( ) 内は為替影響の再掲

- ⊕ 中央府省向け大型案件の獲得
- ⊕ 地域金融機関向け大型案件の獲得
- ⊖ 前期に獲得した小売・消費財向け大型案件の反動減

+2,140

+14,806 (+788)

+20

+16,966

北米 +723(+201)

EMEA・中南米 +642(+580)

NTT Ltd. +13,416

⊕ 連結拡大影響

⊕ 為替影響

⊕ 北米における大型案件の獲得

35,668

18,702

2023年3月期  
第3四半期実績  
(4月～12月)

日本

海外

その他

2024年3月期  
第3四半期実績  
(4月～12月)

受注高	2023年3月期 4月～12月		2024年3月期 4月～12月		対前年度 増減	2024年3月期 予想		対業績予想 2023.4-12進捗率		2023年3月期 10月～12月		2024年3月期 10月～12月		対前年度 増減
	NTT Ltd. 除き		NTT Ltd. 除き			NTT Ltd. 除き		NTT Ltd. 除き		NTT Ltd. 除き		NTT Ltd. 除き		
合計	18,702		35,668		+16,966	28,500	-	-	-	6,756		14,002		+7,247
日本	9,418		11,558		+2,140	14,840		77.9%		3,369		3,481		+112
再掲														
公共	3,286		4,762		+1,476	5,200		91.6%		933		1,115		+181
金融	2,850		3,714		+864	5,200		71.4%		1,137		1,328		+191
法人	2,854		2,633		▲221	3,900		67.5%		1,164		901		▲263
海外(*)	9,198		24,003		+14,806	13,410		-		3,359		10,481		+7,122
再掲														
北米	3,503		4,226		+723	5,470		77.3%		1,334		2,300		+966
EMEA・中南米	5,506		6,149		+642	7,610		80.8%		1,956		2,289		+333
NTT Ltd.	-		13,416		+13,416	-		-		-		5,826		+5,826
その他	87		106		+20	250		42.6%		28		40		+13

(\*) NTT Ltd.の受注実績については、2023年3月期は含まず、2024年3月期より含む

NTT DATA 5

受注高については、  
NTT Ltd.の連結拡大影響に加えて、  
日本・海外、両セグメントにおける大型案件の獲得等もあり、  
+1兆6,966億円と大幅に増加しました。

日本セグメントでは、法人において、  
前期に獲得した大型案件の反動減はあるものの、  
公共における中央府省向け大型案件の獲得や、  
金融における地域金融機関向け大型案件の獲得等により、  
+2,140億円の増加となりました。

海外セグメントでは、NTT Ltd.の連結拡大影響および為替影響に加えて、  
第2四半期までは対前年度マイナスで推移していた北米における  
大型案件の獲得等により、+1兆4,806億円の増加となりました。

6ページをご覧ください。

# 売上高 | セグメント別増減 (2024年3月期 第3四半期実績)

NTT Ltd.連結拡大影響に加え、日本セグメント・欧州における規模拡大及び為替影響等により増収

(単位：億円)

( ) 内は為替影響の再掲



2023年3月期  
第3四半期実績  
(4月～12月)

日本

海外

その他

2024年3月期  
第3四半期実績  
(4月～12月)

売上高	2023年3月期 4月～12月		2024年3月期 4月～12月		対前年度 増減	2024年3月期 予想	対業績予想 2023.4-12進捗率	2023年3月期 10月～12月		2024年3月期 10月～12月		対前年度 増減
	2023年3月期 4月～12月	2024年3月期 4月～12月	2023年3月期 10月～12月	2024年3月期 10月～12月				2023年3月期 10月～12月	2024年3月期 10月～12月			
合計	24,061	31,762	+7,701	41,000	77.5%	10,347	10,976	+630				
日本	11,709	12,466	+757	17,000	73.3%	4,057	4,238	+181				
再掲												
公共	4,235	4,674	+440	6,650	70.3%	1,530	1,625	+95				
金融	4,822	5,022	+201	6,920	72.6%	1,613	1,717	+104				
法人(*1)	3,682	3,941	+259	5,500	71.6%	1,280	1,306	+26				
海外	12,653	19,582	+6,929	24,360	80.4%	6,399	6,853	+454				
再掲												
北米	4,458	4,404	▲55	5,770	76.3%	1,533	1,530	▲2				
EMEA・中南米	5,083	6,016	+934	7,110	84.6%	1,829	2,131	+303				
NTT Ltd. (*2)	3,024	9,163	+6,139	11,670	78.5%	3,024	3,188	+164				
その他	▲301	▲287	+14	▲360	79.7%	▲109	▲114	▲6				

(\*1) 2023年4月に行った法人における組織再編に伴い、比較対象年度である2023年3月期 第3四半期についても当該組織再編後の数値を反映

(\*2) NTT Ltd.は、2023年3月期 第3四半期より連結開始しており、2023年3月期のNTT Ltd.は10月～12月の数値

NTT DATA 6

次に売上高の状況です。

売上高は、NTT Ltd.の連結拡大影響および為替影響に加え、日本セグメントや欧州での規模拡大により、+7,701億円の大規模な増収となりました。

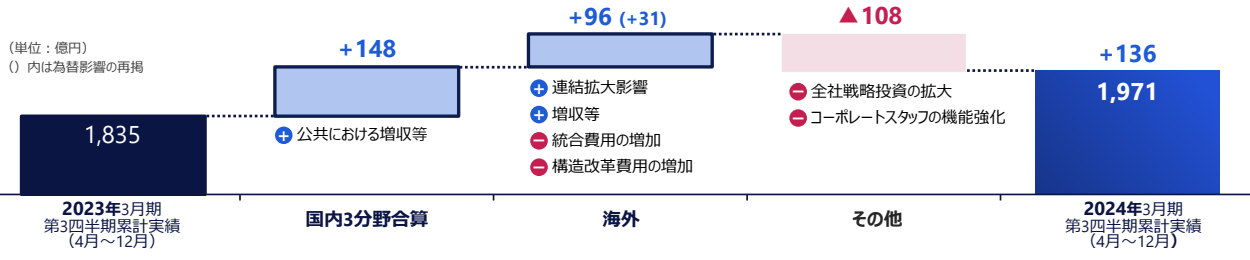
7ページをご覧ください。

## 営業利益 | 増減 (2024年3月期 第3四半期実績)

海外セグメントにおける統合費用・構造改革費用の増加はあるものの、NTT Ltd.連結拡大影響や公共における増収等に伴い増益

(単位：億円)

() 内は為替影響の再掲



営業利益 (営業利益率)	2023年3月期 4月~12月		2024年3月期 4月~12月		対前年度 増減	2024年3月期 予想	対業績予想 2023.4-12進捗率	2023年3月期 10月~12月		2024年3月期 10月~12月		対前年度 増減
	2023年3月期 4月~12月	2024年3月期 4月~12月	2023年3月期 10月~12月	2024年3月期 10月~12月								
合計	1,835	1,971	+136	2,920	67.5%	755	752	▲4				
国内3分野合算 <sup>(*)</sup>	1,301	1,450	+148	2,080	69.7%	508	512	+4				
公共	379 (9.0%)	508 (10.9%)	+129 (+1.9p)	800 (12.0%)	63.5%	188 (12.3%)	200 (12.3%)	+12 (+0.0p)				
再掲												
金融	506 (10.5%)	523 (10.4%)	+17 (▲0.1p)	730 (10.5%)	71.7%	175 (10.8%)	174 (10.1%)	+1 (▲0.7p)				
法人	416 (11.3%)	418 (10.6%)	+2 (▲0.7p)	550 (10.0%)	76.1%	145 (11.3%)	138 (10.6%)	+6 (▲0.7p)				
海外	525 (4.1%)	621 (3.2%)	+96 (▲1.0p)	990 (4.1%)	62.7%	263 (4.1%)	279 (4.1%)	+16 (▲0.0p)				
その他	9	▲100	▲108	▲150	-	▲16	▲39	▲23				

(\*) 国内事業については、昨年と同様の公共、金融、法人分野の合計で記載

(\*) NTT Ltd.は、2023年3月期 第3四半期より連結開始しており、2023年3月期のNTT Ltd.は10月~12月の数値

NTT DATA 7

次に営業利益の状況です。

こちらでは、国内事業の対前年度増減について、昨年度と同様に、公共・社会基盤、金融、法人の3分野の合算値で示しています。

通期業績予想に織り込んでいた

海外事業統合費用 (+56億円) や海外事業構造改革費用 (+71億円) の増加はあるものの、NTT Ltd.の連結拡大影響や公共における増収等により+136億円の増益になっております。

8ページをご覧ください。

## [参考] 海外セグメントの業績内訳

(単位：億円)

	2023年3月期 4月～12月	2024年3月期 4月～12月	前期比 (金額)	為替影響 <sup>(*)</sup>	前期比 (比率)	2024年3月期 予想	対業績 予想進捗率	2023年3月期	2024年3月期	前期比 (金額)
								10月～12月	10月～12月	
<b>売上高</b>	<b>12,653</b>	<b>19,582</b>	<b>+6,929</b>	<b>+932</b>	<b>+54.8%</b>	<b>24,360</b>	<b>80.4%</b>	<b>6,399</b>	<b>6,853</b>	<b>+454</b>
再掲										
北米	4,458	4,404	▲55	+211	▲1.2%	5,770	76.3%	1,533	1,530	▲2
EMEA・中南米	5,083	6,016	+934	+571	+18.4%	7,110	84.6%	1,829	2,131	+303
NTT Ltd.	10-12月 3,024	9,163	+6,139	+140	+203.0%	11,670	78.5%	3,024	3,188	+164
<b>EBITA<sup>(*)</sup> (EBITA率)</b>	<b>723 (5.7%)</b>	<b>986 (5.0%)</b>	<b>+263 (▲0.7P)</b>	<b>+39</b>	<b>+36.4%</b>	<b>1,450 (6.0%)</b>	<b>68.0%</b>	<b>355 (5.5%)</b>	<b>406 (5.9%)</b>	<b>+51 (+0.4P)</b>
再掲										
北米	320 (7.2%)	310 (7.0%)	▲10 (▲0.1P)	+15	▲3.1%	440 (7.6%)	70.5%	121 (7.9%)	133 (8.7%)	+12 (+0.8P)
EMEA・中南米	236 (4.6%)	265 (4.4%)	+29 (▲0.2P)	+25	+12.2%	400 (5.6%)	66.2%	71 (3.9%)	114 (5.4%)	+43 (+1.5P)
NTT Ltd.	10-12月 161 (5.3%)	418 (4.6%)	+257 (▲0.8P)	+7	+159.5%	790 (6.8%)	52.9%	161 (5.3%)	162 (5.1%)	+1 (▲0.2P)
<b>(参考) 受注高</b>	<b>NTT Ltd. 除き 9,198</b>	<b>24,003</b>	<b>+14,806</b>	<b>+788</b>	<b>+161.0%</b>	<b>NTT Ltd. 除き 13,410</b>	<b>-</b>	<b>3,359</b>	<b>10,481</b>	<b>+7,122</b>
再掲										
北米	3,503	4,226	+723	+201	+20.6%	5,470	77.3%	1,334	2,300	+966
EMEA・中南米	5,506	6,149	+642	+580	+11.7%	7,610	80.8%	1,956	2,289	+333
NTT Ltd.	-	13,416	+13,416	-	-	-	-	-	5,826	+5,826

(\*)1 EBITA = 営業利益 + 買収に伴うPPA無形固定資産の償却費等

(\*)2 事業統合費用について、年間190億円の計画額は、海外セグメント全体の2024年3月期予想1,450億円にのみ含む。実績額は、各リジョンに計上され、2024年3月期4～12月のEBITAには、全体で70億円、北米7億円、EMEA・中南米38億円、NTT Ltd.19億円の費用を含む。

(\*)3 NTT Ltd.の為替影響は、当年度と前年度の4月～12月及び1月～9月の期中平均レートを比較・差額で算出。

(\*)4 NTT Ltd.は、2023年3月期 第3四半期より連結開始しており、2023年3月期のNTT Ltd.の売上高及びEBITAは10月～12月の数値。NTT Ltd.の受注高は2023年3月期は含まず、2024年3月期より含む。

(\*)5 為替レート (期中平均レート) : 2024年3月期 第3四半期は、USD 143.33円、EUR 155.32円、2023年3月期 第3四半期は、USD 136.46円、EUR 140.59円 (NTT Ltd.は2022年10月-12月期中平均レートUSD141.38円)。

こちらは、海外セグメントの業績内訳となりますが、  
ここではEBITAの状況について補足します。

北米は、減収等により対前期▲10億円の減少となっています。

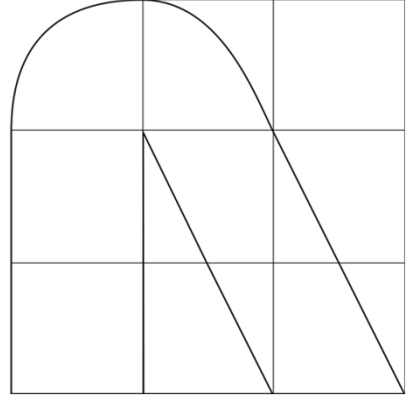
EMEA・中南米は、海外事業統合費用の増加はあるものの  
増収による増益等により対前期+29億円の増加となっています。

9ページをご覧ください。



# 2

## 決算説明における主なポイント



続きまして、今回の決算説明における主なポイントについて、  
整理してご説明します。

10ページをご覧ください。

## 決算説明における主なポイント

### ■ セグメント別の受注状況

日本セグメントは、法人において前期に獲得した大型案件の反動減があるものの、公共・金融における大型案件の獲得等により全体としての進捗は好調

海外セグメントは、第2四半期までは対前年度マイナスで推移していた北米の受注も、第3四半期ではプラスに転じており、年間目標の達成に向けた取り組みを継続

▶▶▶ P11 北米受注の状況

### ■ 海外事業統合の進捗状況

来年度からの新しいグローバル事業運営体制に向けて海外の事業統合・構造改革を計画通り進めており、今後取り組みを加速

▶▶▶ P12 海外事業の事業統合・事業構造改革の進捗状況

海外事業統合の進展に伴うシナジーも増加傾向

▶▶▶ P13 海外事業統合のシナジー事例

### ■ ミッションクリティカルシステムのオープン化

知識・経験・技術力を活かし、共同利用型勘定系システム「MEJAR」のオープン化を完了  
ミッションクリティカル領域を中心に当社フレームワーク「PITON」を使ったオープン系システム移行を拡大

▶▶▶ P14 金融勘定系システムのオープン化の状況

### ■ 生成AIの当社事業への影響

お客様ビジネスへの活用と社内業務の効率化の両面から、生成AIを積極的に活用

▶▶▶ P15 生成AIに関する取り組み状況

### ■ データセンター事業の状況

データセンター事業投資は順調に進捗し、サービス提供も予定通り実施

▶▶▶ P16 データセンター事業の状況

### ■ 投資・財務戦略の進捗

金融費用を抑制させるため、支払利息の軽減策を着実に実行

▶▶▶ P17 投資・財務戦略の進捗状況

投資収益性回復・財務健全性維持に向けて、改善施策を継続実施

NTT DATA

10

こちらが今回の決算説明における主なポイントを整理したものととなります。

まずは、セグメント別の受注状況についてです。

日本セグメントにおいては、公共・金融における大型案件の獲得等により、全体としては年間業績予想に対しても好調な進捗となっています。

海外セグメントにおいても、北米における大型案件の獲得等により、北米、EMEA・中南米ともに年間業績予想に対して順調な進捗となっています。

北米受注の状況およびその他のポイントについては、次ページ以降で説明します。11ページをご覧ください。

## 北米受注の状況

- ・ 第2四半期までは対前年度マイナスで推移していたものの、第3四半期で対前年度プラス転換
- ・ マーケットの不透明感によるお客様意思決定遅延等の影響は引き続き見られるが、受注高の年間業績予想達成をめざして取り組みを継続
- ・ 提供価値の高い案件の受注拡大に向けた取り組みを引き続き実施

### ◆受注実績例

米国の大手生命保険会社向け 生命保険・年金業務のTPAサービス※<sup>1</sup>に関する大型BPaaS案件を受注



保険契約管理、規制遵守、コンタクトセンターなどのサービス提供による20年以上にわたる良好なリレーション

生命保険・年金業務のTPAサービスに関する専門性・提供実績  
(第三者評価においてリーダーポジションを獲得)

GIDP※<sup>2</sup>を活用したデジタルへの取り組み  
(フロントオフィス(コンタクトセンター)・バックオフィスにAIや音声分析技術を導入)

※<sup>1</sup> Third Party Administration : 保険契約管理等のアウトソーシングサービス

※<sup>2</sup> Global Insurance Digital Platform : 年金・生命保険業界向けデジタルオフリング。お客様に最適な機能・サービス・ソリューションを組み合わせ、コンサルティングからデジタルプラットフォームの導入、BPO移行・運用まで一貫して提供可能

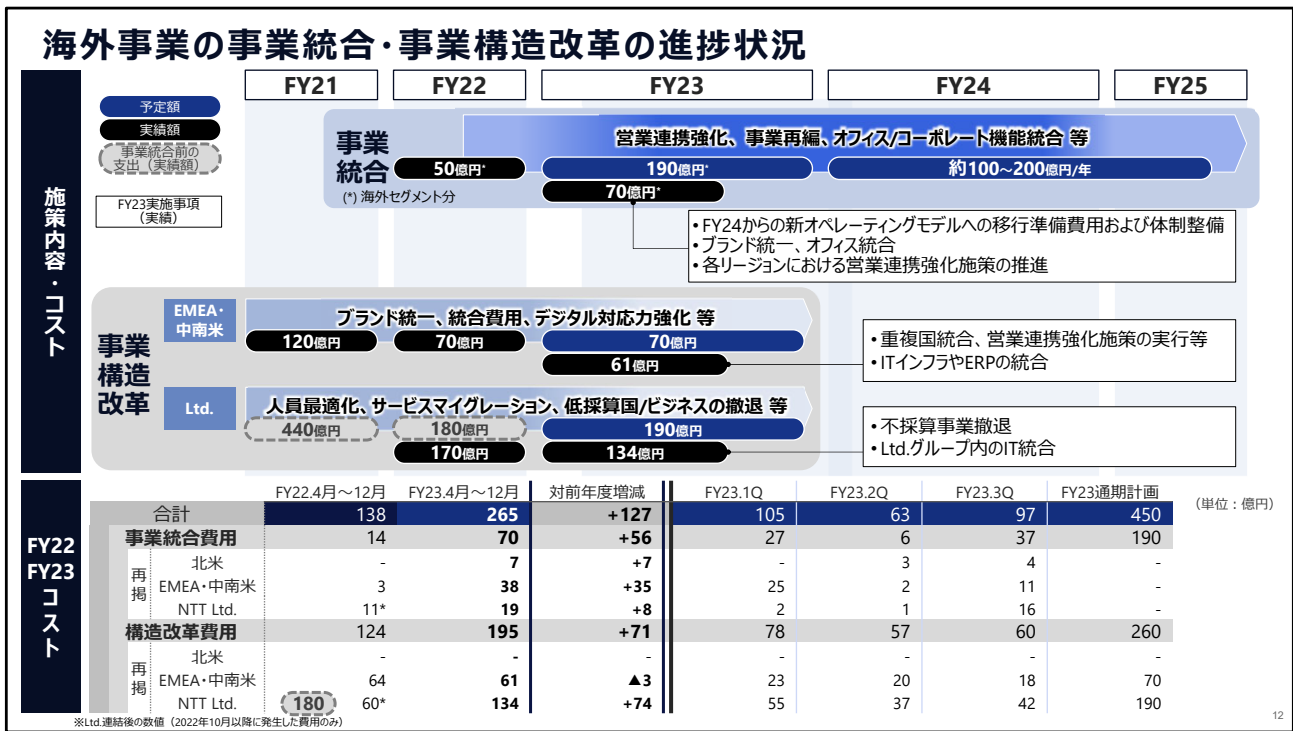
© 2024 NTT DATA Group Corporation

NTT DATA 11

こちらは、北米受注の状況です。

北米の受注は第2四半期までは対前年度マイナスでしたが、第3四半期における、米国の大手生命保険会社様向けの600億円超の長期大型案件をはじめとした複数案件の獲得により、対前年度プラスに転じております。

マーケットの不透明感によるお客様意思決定遅延等の影響は引き続き見られますが、年間業績予想達成をめざして取り組みを継続していきます。



続いて、海外事業の事業統合・事業構造改革の進捗状況についてご説明します。

事業統合のプロセスは、2024年度からの新オペレーションモデルへの移行に向けて、順調に進捗しております。

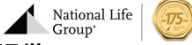
事業統合費用は、第3四半期までに、EMEA・中南米を中心に70億円支出しました。年間計画は、海外セグメント全体で190億円であり、第4四半期においては、取り組みをさらに加速してまいります。

事業構造改革費用は、第3四半期までに、EMEA・中南米では61億円の支出、NTT Ltd.では134億円の支出となり、年間計画に対していずれも順調な進捗となっています。

## 海外事業統合のシナジー事例

- 海外事業統合が進捗し、NTT DATAの各リージョンにおいてシナジー創出
- インフラからアプリまでフルスタックでのサービス提供およびクロスセルの拡大により案件獲得

### ◆北米における事例

米国の大手生命保険会社  
National Life Group様向け  ITOサービスの更改及びデータセンター提供



お客様との戦略的パートナーシップを5年延長

### ◆EMEA・中南米における事例

南アフリカの多国籍製薬企業と  
S/4 HANA移行プロジェクトのGlobal MSA\*を締結  
お客様が事業展開しているブラジルでAMS案件\*を受注



お客様のグローバルSAPパートナーとして  
南アフリカおよび欧州でのロールアウトを予定

© 2024 NTT DATA Group Corporation

\*MSA...Master Service Agreementの略。  
\*AMS...Application Management Servicesの略。

NTT DATA 13

海外事業統合の進展により、グローバル各リージョンの強みを活かしたシナジー事例が、第3四半期も引き続き創出されています。

具体的には、北米においては、米国の大手生命保険会社National Life Group様とITO案件の受注をトリガーに戦略的パートナーシップを継続することを発表しました。

NTT DATA Servicesは、アプリケーション・インフラ等を含むITOサービスを提供し、NTT Ltd.はデータセンターサービスを担うことで、お客様へハイクオリティなサービスを提供してまいります。

他には、EMEA・中南米において、南アフリカの多国籍製薬企業様とSAPに関するGlobal MSAを締結し、ブラジルにおけるAMS案件を受注しました。

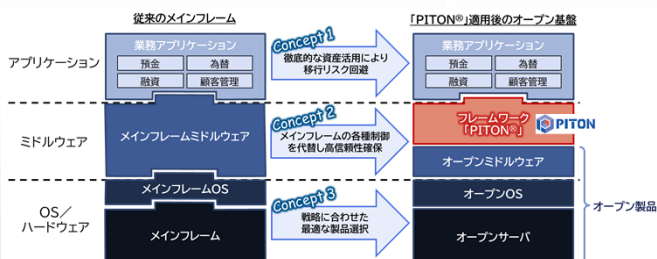
NTT Ltd.の顧客リレーションやグローバルでの実績とNTT DATA Business Solutionsが有する製薬分野のSAP専門知識を組み合わせることで、お客様をサポートしてまいります。

## 金融勘定系システムのオープン化の状況

- 共同利用型勘定系システム「MEJAR」をオープン系に再構築する前例のない高難度システム開発を完遂し、1月4日からサービスを開始して安定稼働中
- 技術継承が困難なメインフレームのオープン化により、社会全体の課題であるIT人材不足の解消及びDX推進に貢献
- 更なる効率的な運用や管理負担軽減に向け、将来的な勘定系システムのクラウド構想実現をめざす

### PITON®による勘定系システムのオープン化

- メインフレーム上に構築されたシステムをオープン系で稼働させるためのフレームワーク（PITON®）を開発
- 地銀共同利用型勘定系システム「MEJAR」へ適用し、1月4日より国内銀行業界初となるマルチバンクオープン勘定系システムの稼働を開始
- MEJARのオープン化を皮切りに、金融勘定系システムのオープン化を拡大



© 2024 NTT DATA Group Corporation

### Future Vision オープン化からクラウド化へ

- オープン化した勘定系システムを集約し、国産の高品質クラウドである「統合バンキングクラウド」を提供予定
- データセンタ・ハードウェア・ミドルウェア等を集約しワンストップで提供することにより、効率的な運用や金融機関の管理負担の軽減へ寄与



NTT DATA 14

続いては、ミッションクリティカルシステムのオープン化についてです。

本年1月4日に稼働を開始した国内銀行業界初となるマルチバンクオープン勘定系システムMEJARについてお話しいたします。

これまでメインフレームでしか実現できていなかった、共同利用型の大規模勘定系システムを、当社フレームワークであるPITONを活用してオープン化することに成功しました。

非常に難易度が高いプロジェクトでしたが、メインフレーム技術者、オープン系技術者、業務有識者など多くの関係者が、それぞれの技術・ノウハウを結集することで、今回のオープン化を実現し、稼働開始することができました。

MEJARのオープン化を皮切りに、今後も金融勘定系システムのオープン化を進めるとともに、将来的な統合バンキングクラウド構想の実現に向け取り組んでまいります。



## 生成AIに関する取り組み状況

- 顧客との共創において100以上のプロジェクトをグローバル規模で展開中
- 2024年4月からLITRONがtsuzumiのサポートを開始するなど、社会との調和を図る生成AIを今後も提供予定

### ★ 顧客との共創

100+  
グローバル先進事例

- 行政  
文書稟議
- 金融  
融資業務
- 保険  
デジタル従業員
- アパレル  
パーソナルビジュアル  
コミュニケーション  
ほか多数



### ソフトウェア開発 生産性向上

40~70%, 適用数100+  
開発生産性向上\*

Coding  
The end-to-end AI coding journey  
by NTT DATA

- AI Coding
- AI Testing
- Javaマイグレーション
- COBOLマイグレーション

### 生成AIアセット

2024年4月リリース予定

10+  
生成AI関連アセット

LITRON × tsuzumi  
By Generative AI

### 生成AI活用人材

195,000+  
Of Generative AI

- 経営管理
- レポート作成
- 英語翻訳
- メール、資料作成 等

© 2024 NTT DATA Group Corporation

\*開発生産性 = 製造・試験工程での生産性 NTT DATA 15

続いては、生成AIに関する取り組み状況についてご紹介します。

生成AIの需要は加速しており、当社も様々な取り組みを推進しています。

生成AIを活用したお客様との共創プロジェクトは現在100を超え、グローバル横断で展開しています。

また、当社は10以上の生成AI関連アセットを有しており、2024年4月には生成AIを活用した文章検索・回答生成システムLITRONのtsuzumiサポートの開始を予定しています。これにより、金融業界等、機密性の高い環境でも独自のLLMを導入することが可能になります。

加えて、社内でも生成AIの適用範囲を広げ取り組みを推進し、ソフトウェア開発等における生産性向上に取り組んでいます。

当社は、引き続き生成AI関連の取り組みを推進し、社会との調和を図る生成AIの提供をめざしてまいります。

## データセンター事業の状況

- データセンター事業は、旺盛な需要を背景に成長が見込めることから、積極的に投資を進めており、予定通りサービスを提供
- 第3四半期におけるデータセンター事業の売上高、EBITDA、EBITDA率、投資額は、通期計画に対して順調に進捗

### データセンターの2023年度サービス提供計画・実績

- 2023年度末までに13のデータセンター(226MW)の提供開始を予定
- 第3四半期までに7のデータセンター\*を提供開始(99MW)  
\* インド(ナビムンバイ)、ドイツ(フランクフルト他)、アメリカ(バージニア州)、マレーシア(サイバージャヤ)



### 第3四半期における取組事例

- 2023年12月に東京電力パワーグリッドと千葉県印西白井エリアにおいて、データセンターの共同開発および運用を目的とした**新会社の設立**に向けて合意
- 同エリアでのデータセンター開設とサービス開始を2026年下期に計画
- 東京電力グループの有する多様な電力設備の構築能力等と当社グループの有するグローバル標準化されたデータセンターの構築運用ノウハウ等を組合せて、カーボンニュートラル化等の実現に向けた社会課題解決に貢献すべく、**先進的なデータセンターモデルの実現**をめざす

### データセンター事業の収益\*1

	2024年3月期 第3四半期実績		通期計画	
売上高	1,352 M\$	1,938 億円	1,753 M\$	-
EBITDA (率)	511 M\$ (38%)	733 億円	628 M\$ (36%)	-
投資額	1,761 M\$	2,523 億円	2,797 M\$	3,500 億円

\*1 NTT Ltd.のデータセンター事業部門の収支を計算するための管理会計上の数値。親会社であるNTT及び当社グループとの会社間取引を含み、NTT Ltd.の他の事業との共通費用の配分など一定の方法で算定。

\*2 EBITDAは、有形固定資産及びソフトウェアの減価償却費、買収に伴う無形固定資産の償却費、一部の本社共通コスト等の費用を含まない数値

\*3 為替レートは実績については期中平均レートを使用し、通期計画については、社内計画レートで換算。

続いて、データセンター事業の状況について、ご説明します。

データセンター事業は、旺盛な需要を背景に成長が見込めることから、積極的に投資を進めており、予定通りサービスを提供しています。

また、2023年12月には、東京電力パワーグリッド様とデータセンターの共同開発および運用を目的とした新会社の設立について合意し、開設に向けた準備を進めています。

第3四半期における売上高、EBITDA、EBITDAマージン、投資額についても、通期計画に対して順調に進捗しております。

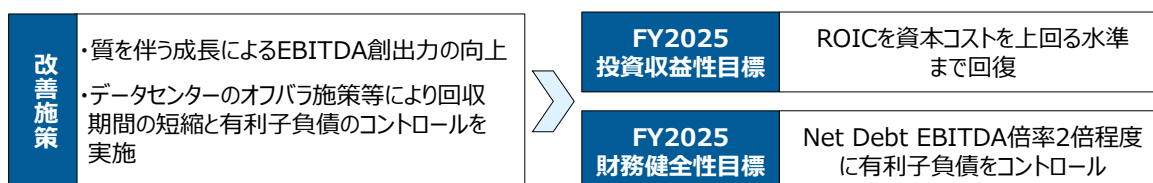


## 投資・財務戦略の進捗状況

- ・ 支払利息の軽減策を着実に実行
- ・ 2023年度においては支払利息は約35億円の軽減効果を見込む

<b>固定金利に 借り換え</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 既存の変動金利によるUSDドル借入金を固定金利に借り換え</li> <li>・ USDドル市場金利の逆イールド活用による 支払利息軽減</li> </ul>	<b>FY23支払利息 軽減効果</b>  <b>約35億円見込</b> <small>※うち、第3四半期 約15億円</small>
<b>円活用による 借り換え</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 当社が低金利の円で調達し、NTT Ltd.に貸付</li> <li>・ NTT Ltd.は既存のUSDドル借入金を返済</li> <li>・ 円とUSDドルの借入金利差による支払利息軽減</li> </ul>	

- ・ 収益性の回復/財務健全性の維持に向けて、引き続き改善施策の検討・実施を進めていく



© 2024 NTT DATA Group Corporation

NTT DATA 17

最後に、投資・財務戦略の進捗状況についてご説明します。

固定金利への借り換えや、円キャリー取引による支払利息の軽減策については、着実に実行しています。

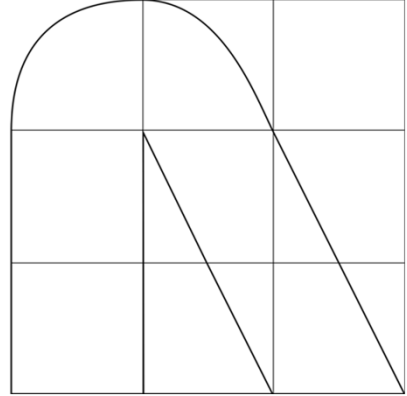
2023年度では、約35億円の利息軽減効果を見込んでおり、このうち第3四半期では、約15億円の軽減となっております。

また、今年度におけるデータセンターのオフバラ施策については、データセンター売却に向けた取り組みを進めております。

私からのご説明は以上とさせていただきます。  
ありがとうございました。

# 3

## 巻末資料 - 決算・業績予想値の詳細 -



(説明省略)

## 連結業績

(単位：億円, %)

	2023年3月期 第3四半期実績 <sup>(*)1</sup> (4月～12月)		2024年3月期 第3四半期実績 (4月～12月)		前期比 (%)	2023年3月期 実績		2024年3月期 予想	
	NTT Ltd.除き					NTT Ltd.除き		NTT Ltd.除き	
受注高 <sup>(*)1</sup>	18,702		35,668		+90.7	27,256		28,500	
受注残高 <sup>(*)1</sup>	28,675		55,417		+93.3	46,539		29,600	
売上高	24,061		31,762		+32.0	34,902		41,000	
売上原価	17,709		23,257		+31.3	25,679		29,930	
売上総利益	6,352		8,504		+33.9	9,222		11,070	
販売費及び一般管理費 <sup>(*)2</sup>	4,518		6,534		+44.6	6,631		8,150	
人件費	2,388		3,394		+42.1	3,486		-	
作業委託費	871		1,285		+47.5	1,363		-	
経費等その他	1,259		1,855		+47.4	1,782		-	
営業利益	1,835		1,971		+7.4	2,591		2,920	
営業利益率(%)	7.6		6.2		▲1.4P	7.4		7.1	
金融収益・費用/ 持分法投資損益	▲104		▲469		-	▲163		▲520	
税引前当期利益	1,731		1,501		▲13.2	2,428		2,400	
法人所得税費用等 <sup>(*)3</sup>	674		664		▲1.4	928		960	
当社株主に帰属する 当期利益	1,057		837		▲20.8	1,500		1,440	
設備投資	1,966		4,250		+116.2	3,817		5,900	
減価償却費等 <sup>(*)4</sup>	1,550		2,065		+33.2	2,231		2,780	

(\*)1 NTT Ltd.は、2023年3月期 第3四半期より連結開始しており、2023年3月期第3四半期実績には10月～12月の数値を含む。また、受注高は2023年3月期は含まず、2024年3月期より含む。受注残高については、2023年3月期末より含む。

(\*)2 「販売費及び一般管理費」は、性質別に区分変更を実施（2023年3月期 第3四半期に変更済み）

(\*)3 「法人所得税費用等」には、「法人所得税費用」及び「非支配持分に帰属する当期利益」を含む

(\*)4 2020年3月期以降はリ-ス償却費を含めず算出

© 2024 NTT DATA Group Corporation

NTT DATA 19

(説明省略)

# 売上高（連結）

内訳詳細（外部顧客向け）

（単位：億円）

		2023年3月期 第3四半期実績 (4月～12月)	2024年3月期 第3四半期実績 (4月～12月)	2023年3月期 実績	2024年3月期 予想
日本		11,396	12,189	16,117	17,000
再掲	公共・社会基盤	3,449	3,821	5,231	5,530
	中央府省・地方自治体・ヘルスケア	1,824	2,093	2,909	3,070
	テレコム・ユティリティ	902	922	1,273	1,300
	金融	4,054	4,178	5,521	5,970
	大手金融機関	1,600	1,628	2,168	2,230
	地域金融機関	1,251	1,302	1,730	1,770
	決済・保険	1,068	1,097	1,440	1,500
	法人 <sup>(*)</sup>	3,358	3,623	4,595	4,840
	流通・サービス・ペイメント	1,430	-	1,941	-
	製造・コンサルティング	1,928	-	2,654	-
	製造・サービス	-	650	-	1,010
	小売・消費財	-	788	-	1,030
	コンサルティング・ペイメント	-	2,184	-	2,800
海外 <sup>(**)</sup>		12,580	19,479	18,661	24,360

## 製品及びサービス別（外部顧客向け）

コンサルティング	3,281	3,802	4,604	4,700
統合ITソリューション	5,175	5,152	6,948	7,000
システム・ソフトウェア開発	4,911	5,368	7,176	7,300
メンテナンス・サポート	6,988	7,634	9,437	9,500
ITインフラ <sup>(***)</sup>	1,436	4,293	2,785	5,050
通信端末機器販売等 <sup>(***)</sup>	1,564	4,795	2,996	6,500
その他のサービス	705	718	955	950
製品及びサービス別の売上高 合計	24,061	31,762	34,902	41,000

(\*) 法人は、2023年4月に行った組織再編に伴い、2024年3月期より「製造・サービス」（自動車、機械、交通等）、「小売・消費財」（流通、小売、食品等）、「コンサルティング・ペイメント」への区分変更を実施

(\*\*) NTT Ltd.は、2023年3月期 第3四半期より連結開始しており、2023年3月期第3四半期実績には10月～12月の数値を含む。

(\*\*\*) 「ITインフラ」は、NTT Ltd.が行うビジネスであり、主にマネージドサービスやデータセンタービジネスを含む。「通信端末機器販売等」は、NTT Ltd.が行うビジネスであり、主に通信端末機器販売及びその保守サービスを含む

© 2024 NTT DATA Group Corporation

NTT DATA 20

（説明省略）

## 受注高・受注残高（連結）

受注高内訳詳細（外部顧客向け）

（単位：億円）

		2023年3月期 第3四半期実績 (4月～12月)	2024年3月期 第3四半期実績 (4月～12月)	2023年3月期 実績	2024年3月期 予想
日本		9,418	11,558	14,452	14,840
再掲	公共・社会基盤	3,286	4,762	4,957	5,200
	中央府省・地方自治体・ヘルスケア	1,599	3,089	2,598	2,830
	テレコム・コネクティティ	898	749	1,254	1,260
	金融	2,850	3,714	4,866	5,200
	大手金融機関	1,247	1,527	2,237	2,370
	地域金融機関	892	1,451	1,636	1,800
	決済・保険	601	600	824	830
	法人 <sup>(*)</sup>	2,854	2,633	4,043	3,900
	流通・サービス・ペイメント	972	-	1,279	-
	製造・コンサルティング	1,882	-	2,764	-
	製造・サービス	-	556	-	850
	小売・消費財	-	707	-	950
コンサルティング・ペイメント	-	1,369	-	2,100	
海外 <sup>(**)</sup>	NTT Ltd.除き 9,198	24,003	NTT Ltd.除き 12,677	NTT Ltd.除き 13,410	

### 受注残高内訳詳細

受注残高		2023年3月期 第3四半期実績 (4月～12月)	2024年3月期 第3四半期実績 (4月～12月)	2023年3月期 実績	2024年3月期 予想
日本		28,675	55,417	46,539	29,600
再掲	公共・社会基盤	15,546	17,186	16,273	16,200
	金融	5,725	6,636	5,625	5,330
	法人	7,879	8,638	8,582	8,390
	海外 <sup>(**)</sup>	1,620	1,631	1,816	2,080
	NTT Ltd.除き 13,131	38,185	30,225	NTT Ltd.除き 13,360	

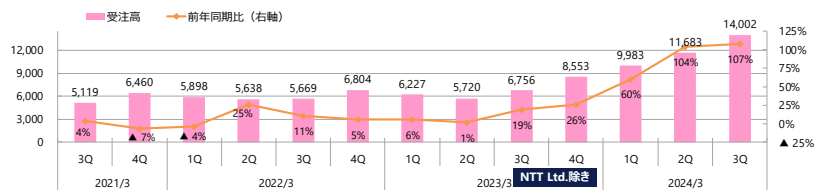
(\*) 法人は、2023年4月に行った組織再編に伴い、2024年3月期より「製造・サービス」（自動車、機械、交通等）、「小売・消費財」（流通、小売、食品等）、「コンサルティング・ペイメント」への区分変更を実施  
 (\*\*) 受注実績については、2024年3月期よりNTT Ltd.含む。2023年3月期はNTT Ltd.連結拡大影響を除く。受注残高については、2023年3月期末より含む

（説明省略）

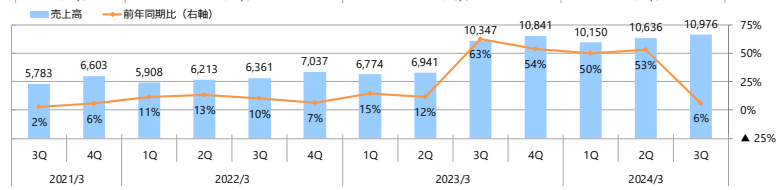
# 四半期情報 (連結)

(単位: 億円)

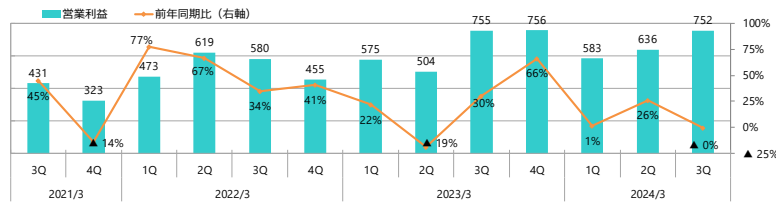
## ■ 受注高



## ■ 売上高



## ■ 営業利益



(\*) NTT Ltd.は、2023年3月期 第3四半期より連結開始。売上高、営業利益は、2023年3月期第3四半期よりDNTT Ltdの値を含む。受注高は、2023年3月期は含まず、2024年3月期より含む。

© 2024 NTT DATA Group Corporation

NTT DATA 22

(説明省略)

# 連結財政状態計算書

内訳項目は再掲表示

(単位：億円)

	2023年3月期 期末実績	2024年3月期 第3四半期末実績	前期比 増減 (金額)
<b>流動資産</b>	22,490	22,993	+504
現金及び現金同等物	4,154	4,438	+284
売掛金	11,145	10,944	▲201
棚卸資産	762	723	▲39
売却目的保有資産	487	674	+187
<b>非流動資産</b>	39,092	43,617	+4,524
有形固定資産	13,725	16,544	+2,819
無形資産	6,532	6,677	+145
のれん	11,336	12,432	+1,096
繰延税金資産	2,250	2,302	+52
<b>資産合計</b>	61,582	66,610	+5,028
<b>流動負債</b>	18,043	22,425	+4,382
買掛金	3,994	3,586	▲409
契約負債	4,179	4,551	+371
社債及び借入金 (流動)	2,788	6,985	+4,196
<b>非流動負債</b>	19,575	18,495	▲1,080
社債及び借入金	14,530	13,351	▲1,179
リース負債 (非流動)	2,046	2,022	▲24
<b>負債合計</b>	37,618	40,920	+3,302
<b>当社株主に帰属する持分</b>	14,524	15,818	+1,295
非支配持分	9,440	9,872	+432
<b>資本合計</b>	23,964	25,690	+1,727
<b>負債及び資本合計</b>	61,582	66,610	+5,028

(説明省略)

The image shows the NTT Data logo, which consists of the text "NTT Data" in a white, sans-serif font centered on a solid blue rectangular background.

**NTT Data**

(説明省略)